

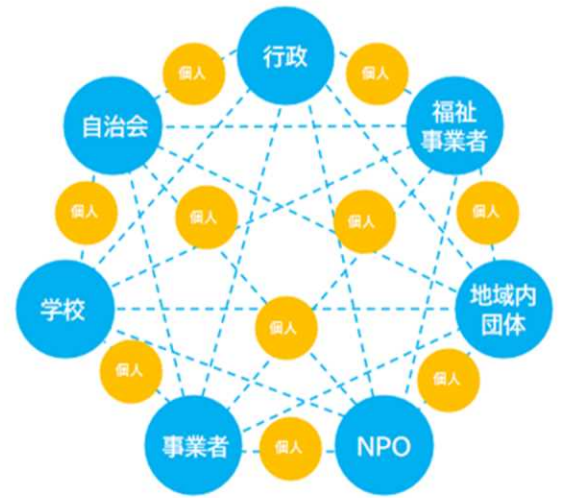
協働のまちづくりに関する講演

『地域の“ほっとけない”と協働のまちづくり』



地域の“ほっとけない”は誰が問題解決するのでしょうか？

一人ひとりの“志”や“能力”を引き出し・つなぐ協働のまちづくり



福知山公立大学地域経営学部 谷口知弘先生

- 「私」のほっとけないを「社会」のほっとけないへ
- 多様な主体（団体・個人）の得意を持ち寄り活かす。補完する。
- 地域の埋もれし人材を掘りおこす。社会とつなぐ
- 「よそもん」「わかもん」「ばかもん」の協働
- 協働のプロセス（楽しい話し合いや共同作業） など・・・

協働から豊かな関係を育て、良い人生を

さまざまな立場の意見を出し合う

対話：地域の注目した“ほっとけない”

協働ってどう進めたらいいんだろう



祭り

少しでも地域のことを考えてみる

慣例にとらわれず、地域で行事を選んで実施

女性や若者の意見を聞く

行政の仕事が地域にくると困るぞ

対話の重要性(一人で考えていても進まない)

「楽しんで地域ごとに関わること」

地域のコミュニティは防災が基本

など・・・



祭りの担い手不足



高齢者支援



隣組単位の活動